

福祉映画上映会



この映画会は、赤い羽根共同募金運動の啓発を目的に開催します。

寺島しのぶ

渡辺いっけい 佐野史郎 赤塚真人 徳光和夫 山口馬木也 趣里 塩谷瞬

松本若菜 真行寺君枝 磯村みどり 浅利香津代 神田さち子 加藤純平 水石亜飛夢 月船さらら 草薙仁 上野神楽 中泉英雄

福原圭一 露のききょう 進藤龍也 安田陽子 崎野亜紀子 秋元辰美 平尾仁 小磯聡一郎 松野木拓人 関戸将志

製作 株式会社現代ぷろだくしょん

監修 山田火砂子

プロデューサー 上野有 ラインプロデューサー 櫻井陽一 原作 三浦綾子(母) (NHK)

脚本 重野孝子 監田火砂子

撮影 長田勇市(JAC) 録音 田田和夫 助監督 増田天平

美術 都留啓亮 装飾 加藤誠一 編集 CG 岩谷和行

衣裳 村島恵子 ヘアメイク 小澤なな 協力 公益財団法人三浦綾子記念文化財団 / 三浦綾子読書会 / 東京母親大会連 絡会 / 北海道和歌町 / 秋田県大館市 / YMCA / YWCA / 小樽シオン教会他 推薦 旭文庫持法性性善園学助奨励会 同協賛会本部

平成30年 1 1 月 1 1 日 (日)

13:30~15:30 (受付13:00)



会場 士別市民文化センター大ホール (士別市東6条4丁目)
 入場料 500円 (チケットは、士別市社協で取扱いしております。当日券あり。)
 主催 士別市共同募金委員会
 共催 士別市・士別市社会福祉協議会・士別市ボランティアセンター
 製作 株式会社現代ぷろだくしょん
 問い合わせ 士別市共同募金委員会事務局 (士別市東5条3丁目1-1士別市社会福祉協議会内)
 電話 22-3012 FAX 22-3019

映画『母—小林多喜二の母の物語』にかける思い

原作は三浦綾子さんの小説「母」です。クリスチャンの三浦さんは、無残に殺されたイエスと嘆き悲しむマリヤの絵をみたとき、「獄死した小林多喜二を想像した」と語っています。物語の中で多喜二の母、セキは同じ息子を殺されたマリヤに心から同情し、キリストを知ることによって救われていきます。

そのセキを演じるのは、寺島しのぶです。彼女は、製作発表の席で「原作を読み、セキの海のように広い母性と心の強さを感じた。多喜二という人物を日本の人に知ってもらうため、全身全霊を込めて演じたい」と話しました。その言葉通りの熱演をみてください。

監督の山田火砂子は、戦争への危機を感じ、「時代を逆戻りさせない」決意のもとこの作品を作りました。

この映画を観ていただくことで「二度と戦争はさせない」、「希望ある新しい日本」をつくっていく気持ちを強くしていただければと願っております。



秋田県釈内村、小作農と小さなそば屋で生計を立てる貧しい家の娘にセキは生まれた。高額な地代のため、貧しい農家の娘たちは身売りするより仕方がない。セキの友達も売られていった。

学校へ行きたくても、男の行くところだと親は相手にしない。15歳で小林の家に嫁いだセキと夫末松の次男が、「蟹工船」等のプロレタリア小説を書き残し、昭和8年2月20日に虐殺された作家、小林多喜二である。

セキは優しい母親であった。自分は字もろくに書けなかったが、海のように広い心で子供たちを愛し育てていく。多喜二は叔父の世話で、小樽高商（現小樽商科大学）を卒業し銀行に勤めるまでになる。当時の銀行は高給で生涯楽に暮らせる程であ



った。しかし多喜二は貧しい人の味方となって小説を書くという信念を貫き通す。「武器を作るお金で皆に白い米のご飯を！」と命掛けて反戦を訴えていく。

セキは息子の多喜二を信じ続けた。「多喜二のすること信用しねえ、誰のすること信用するって」

しかし危険分子とみなされた多喜二は遂に国家権力の手によって殺されてしまう。

「多喜二！もう一度立つて見せねか！皆のためにもう一度立つて見せねか！」

多喜二の死を受け入れられず苦しむセキ。長女チマの誘いで教会を訪れたセキは、イエス・キリストの死の話を聞き、何も悪い事をしていないのに殺されたイエスと多喜二の姿を重ね合わせ、思いを巡らす…。

